

2020 年度星槎大学大学院 シラバス

科目名 学校教育相談特論 (R2 認定通信)	単位数 4 単位	担当教員 大野精一
テキスト 大野精一編著 (2017) 『教師・保育者のための教育相談』 萌文書林 総ページ 146 頁 大野精一作成・学校教育相談特論授業資料集 (2020 年版 PDF 版配付) 総ページ 615 頁		
科目の概要 小・中・高等学校で教諭・養護教諭が中心になって行われている教育相談活動 (学校教育相談) に焦点を合わせ、理論や歴史、スキル等について実践に結びつく理解を深める。特に心理社会面や健康面のみならず進路面や学習面への効果的な援助や、スクールカウンセラーを含む校内協働体制、校外専門機関との連携等のあり方を実践を前提に追究する。またアメリカやヨーロッパ、東アジア等のスクールカウンセリング実践を紹介し、日本の学校教育相談の特徴や今後の展望について比較的考える。		
I 科目の目的・ねらい 本授業では小中高生等に対する効果的な教育相談を行うために必要な理論及び方法を具体的に理解することを目標としている。そのために教育相談に関する歴史や各国での実践、さらに各種の理論等を広く取り上げるとともに、児童生徒の心理社会面や健康面、進路面、学習面への指導援助を具体的かつ総合的・統合的に展開する方法等を習得する。		
II 授業計画と評価  第 1 回 インTRODクシヨン 第 2 回 日本における学校教育相談の歴史と展望 第 3 回 アメリカを中心とする諸外国のスクールカウンセリングの歴史と実践 第 4 回 学校教育相談と教育相談、スクールカウンセリング、カウンセリングとの異同と区分け 第 5 回 学校教育相談と生徒指導、特別支援教育 第 6 回 学校教育相談と学校心理学 (学校心理士) 第 7 回 学校教育相談と発達心理学、コミュニティ心理学 第 8 回 学校教育相談と臨床心理学、心理教育的アセスメント 第 9 回 危機介入の理論と実際 第 10 回 コンサルテーションの理論と実際 第 11 回 児童生徒の心理社会面の指導援助スキル (不登校を中心に) 第 12 回 児童生徒の健康面の指導援助スキル (ヘルスカウンセリングを中心に) 第 13 回 児童生徒の進路面の指導援助スキル (キャリア教育を中心に) 第 14 回 児童生徒の学習面の指導援助スキル (認知カウンセリングを中心に) 第 15 回 学校内での協働体制や学校外での専門機関等との連携と協働 科目修得試験 評価 レポート 50%、科目修得試験 50%の割合で行う。		

### Ⅲ学修の流れ

1. 指定のテキスト（『教師・保育者のための教育相談』）を精読して学習を進める。その際に関連する具体的な資料として学校教育相談特論授業資料集（受講生に PDF 版配付）逐一当たること。
  2. レポートを書き、学生ポータルサイトより提出する。
  3. 科目修得試験の申し込みをする。
- レポート合格後、科目修得試験を受験する。

### 参考文献

- 大野精一（1996 Kindle 版 2017）『学校教育相談—理論化の試み』ほんの森出版  
大野精一（1997 Kindle 版 2017）『学校教育相談—具体化の試み』ほんの森出版  
大野精一・藤原忠雄編著（2018）『学校教育相談の理論と実践—学校教育相談の展開史、隣接領域の動向、実践を踏まえた将来展望』あいり出版  
C・キャンベル，C・ダヒア著（中野良顯訳）『スクールカウンセリングスタンダード—アメリカのスクールカウンセリングプログラム国家基準』2000年刊、図書文化  
C・J・ジェルソー、B・R・フリッツ『カウンセリング心理学』2007年刊、ブレーン出版

### その他

テキスト（『教師・保育者のための教育相談』）と学校教育相談特論授業資料集（受講生に PDF 版配付）は一体のものです。テキストを読みこみながら、その具体化を図るために授業資料集を積極的に活用して下さい。